



新鹿会 Vol.4

Shinrokukai Report

令和3年7月発行

希望を持って
前へ



[連絡先] 鹿沼市千渡 2332
[TEL] 0289-60-6760
[編集責任者] 湯沢ひでゆき
※こちらまでご意見・ご感想をお寄せ下さい。

会報誌Vol.4をお読みいただきありがとうございます。今回の議会質問でも取り上げましたが、コロナ禍による子どもへの心の影響が懸念されています。サインの見逃しがないように、大人の目配り気配りが必要と思います。誰もが経験ない状況にありますが、知恵だせ！夢だせ！！元気出せ！！で乗り切りましょう。

新鹿会代表 湯沢ひでゆき

〈新鹿会の主張〉

新鹿会は、5本の柱を軸に県政発展のため尽力して参ります。

1. 子育て環境の整備
2. 充実のシニア世代
3. 農林業の活性化
4. 県民生活の安心安全なまちづくり
5. 企業育成・雇用の確保

令和3年度 第376回通常会議 6月7日登壇

県議会視聴は
こちらから▶



「新鹿会の主張」を元に常に県民市民目線を忘れずに皆様の身近な議員として8つの質問をさせていただきました。その質問内容を中心にご報告いたします。

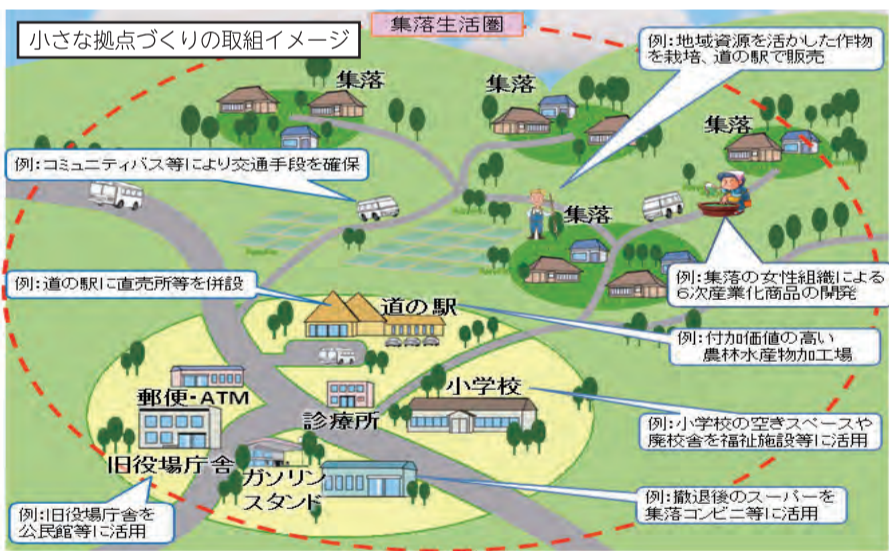
● 地方創生に向けた中山間地域における地域づくり活動の支援について

湯沢

県土の約半分を占める中山間地域は、豊かな自然を育み、県土の保全、水源のかん養、レクリエーションの場であるなど、重要な地域である。しかし、人口減少と高齢化に歯止めがかからず、個人の生活や集落機能の維持が困難であったり、農地や山林が荒廃していたりと多くの問題を抱えており、中山間地域の活性化と振興は、県政の重要な課題の一つである。県はこれまで、県内の中山間地域における地域課題解決のため、小さな拠点づくりを推進、令和6年度までに取り組件数を43件とする目標を立てているが、小さな拠点づくりについて、これまでの実績と、今後どのように取り組んでいくのか。

総合政策部長

県では地域住民の交流の場の確保や雇用の創出など、複数の課題に市町や地域住民が取り込む小さな拠点づくりを支援し、昨年度末までに22件の拠点形成につながった。今年度からは人口減少が著しい中山間地域における取り組みをさらに推進するため、小さな拠点づくり促進事業における拠点形成に係る補助率を引き上げると共に、新たに地域活動の担い手の確保、育成等も補助対象に加えるなど、支援の強化を図っていく。



● 新型コロナウイルスワクチン接種に関する今後の県の取り組みについて

湯沢

65歳以上の高齢者への接種が本格化してきた。完了予定時期については県内自治体に差が生じている。今後予定されている65歳未満の対象者は、高齢者の倍以上の人数であり大変な混乱が予想されることから、今回明らかになった問題点を洗い出し、接種の優先順位や予約方法、効率的な接種の仕組みなど、県独自の接種方法を見いだすべきであり、今後の県の取り組みについて伺う。



保健福祉部長

県は、実施主体である市町の課題を丁寧に確認し、今後一般の方を対象とした接種に向けては、これまでの好事例を踏まえた対応を進める。また、県営のワクチン接種会場の開設・企業内診療所や産業医を活用した職場内接種の助言等、市町の接種を補完する取り組みを行う。

● ヤングケアラーの支援について

湯沢

今年4月にヤングケアラーに関する国の全国調査の結果が公表され、自身がヤングケアラーである認識が低いことや、子どもらしい生活が送れないと思われる子どもが一定程度存在することが明らかとなった。ヤングケアラーは、まだ社会的認知度が高いとは言えず認識を深め、県は早急に支援に向けた検討を始めるべきと考える。また、地域の実情に応じた支援策を検討するための実態調査も早期に行う必要がある。そこで県は、最近の国の動向もふまえて改めてヤングケアラーの支援について今後どのように取り組んでいくのか。



保健福祉部長

県では住民の様々な事に対して包括的な相談体制づくりに向け、キーパーソンとなる市町の相談員や児童委員、福祉関係者への研修の機会をとらえ、ヤングケアラーの周知に努めて行く。また、学校はヤングケアラーを早期に発見できる機関として期待できることから、教育関係者への周知や理解促進を図って行く。また、地域創生社会の実現にあたって、市町を支援する研修の場を作り、ヤングケアラーも一つのテーマとして取り上げて行き、行政の役割、地域住民の役割の理解を促進することでヤングケアラーの方々の支援につながっていくと考える。

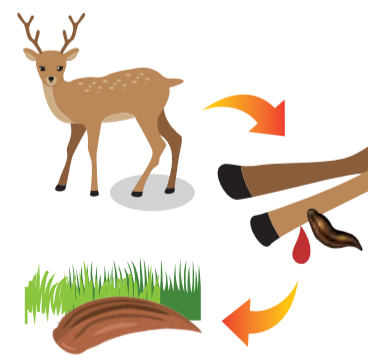
● 鳥獣対策について

湯沢

鳥獣被害を軽減させるため、捕獲、防護、環境整備を3本柱に、様々な事業展開をしてきており、捕獲数が増加傾向となるなど、一定の効果は得られているが、住民の肌感覚では変わらないのではないかと疑問を持っている方もいる。県ではICT等の活用を積極的に進め鳥獣被害を軽減させるため各種取り組みをさらに強化する必要がある。また温暖化などの影響でヤマビル被害が拡大している所以对策に着手してほしい。

環境森林部長

鳥獣被害対策の推進にあたっては、地域における担い手の不足や高齢化などの課題をふまえて、ICT等の活用による省力化、効率化を進める事が重要である。このため、通信機能付カメラによる見回り活動の省力化や、侵入検知センサーを用いた自動捕獲装置による捕獲の効率化の実証事業の取り組みにより、一定の成果が得られている。今後、ヤマビルの生息域の拡大を防止するために、シカやイノシシの捕獲強化を図って行く。県の取り組みとして、地域の皆様・観光客の皆様等、対象者毎に対策マニュアルを作成し、市町と連携を図りながら対策を進めていく。



〈その他の質問として〉

- 外国籍住民に対する新型コロナウイルス感染症の感染予防に関する周知について
- コロナ禍における子供の心のケアについて
- 関西圏における農産物の販路開拓について
- 廃校の利活用について



令和3年度一般会計予算1兆154億円!!

ポイント

今年度は、県政史上初の1兆円を超える予算を編成。新型コロナウイルス感染症から県民の命と暮らしを守るとともに、地域課題の解決に向けた予算編成です。

2021年度県当初予算

- 新型コロナウイルス感染症への対応 (2,088億円)
- 2019年台風19号被害からの復旧・復興 (147億円)

保健福祉

- フレイル予防対策 (1,676万円)
- 高齢者の生きがい施策 (1億320万円)

教育

- 児童・生徒指導の推進 (1億1,300万円)
・スクールソーシャルワーカーの全中学校の配置等
- 県立学校ICT環境整備事業 (1億2,540万円)
・国のGIGAスクール構想に基づくICT環境整備

環境森林

- 地域ぐるみの総合的な鳥獣対策促進事業費(4億3,504万円)
- とちぎの元気な森づくり
里山林整備事業費(2億579万円)

新型コロナウイルス感染症情報

接種券発送と接種完了予定(鹿沼市)

ワクチン接種状況(65歳以上)

	接種券発送	接種完了予定		接種回数(1回目)	接種回数(2回目)
75歳以上	4月20日～	7月30日	栃木県	353,116回 (63.62%)	161,269回 (29.05%)
65-74歳	4月23日～		鹿沼市	20,763回 (72.65%)	11,951回 (41.82%)
50-64歳	6月30日～	11月末			
12-49歳	7月下旬予定				

(7/5時点県のHPより)

栃木県と鹿沼市より

1. ワクチン接種は有効な予防対策です。接種を希望される方はかかりつけ医又は集団接種の予約をし、接種をしてください。
2. ワクチン接種で100%感染を妨げるわけではありません。国等からの新たな方針が出るまでは、マスクの着用、換気をはじめ密集、密着、密閉を避けるなどの感染症予防対策を継続してください。

鹿沼市における道路整備計画概要 身近な地域の道路整備情報をお知らせします。

①一般県道板荷玉田線 辺釣工区

1. 概要

箇所名: 栃木県 鹿沼市辺釣
延長・規格: 0.9km
3種3級(40km/h)
幅員10.0m(2車線)

事業着手年度: 令和2年度
全体事業費: C=27億円

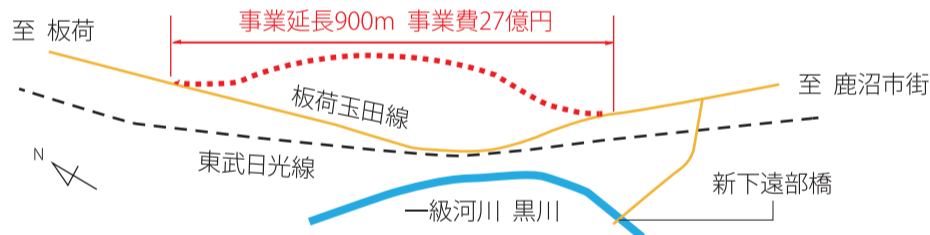
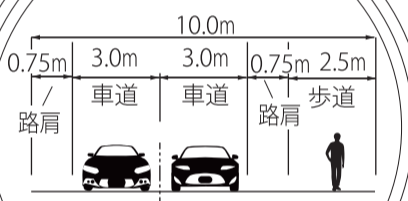
2. 現在の状況

- ・令和2年度より、トンネル詳細設計を実施中
- ・令和3年度は、地元説明会後、用地調査及び用地取得に着手予定



現状写真
(下遠部入口方面から
辺釣板荷方面を望む)

〔計画標準横断面〕



③一般国道293号 仁神堂工区

1. 概要

箇所名: 栃木県鹿沼市仁神堂
延長・規格: 750m
3種2級(50km/h)
幅員16.0m(2車線)

事業着手年度: 令和2年度
全体事業費: C=15億円

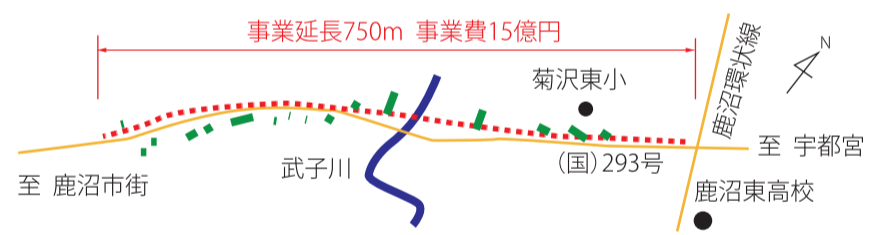
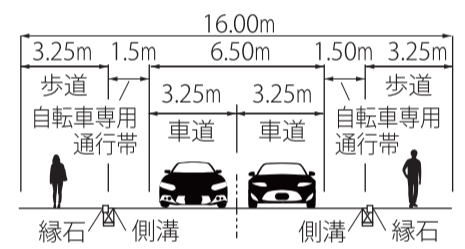
2. 現在の状況

- ・令和2年度までに、詳細設計が完了
- ・令和3年度は、地元説明会開催後、用地調査及び用地取得に着手予定



現状写真
(菊沢小前から
武子川方面を望む)

〔計画標準横断面〕



②主要地方道鹿沼日光線 下沢南工区

1. 概要

箇所名: 栃木県鹿沼市下沢南
延長・規格: 960m 3種2級(40km/h)
幅員10.0m(2車線)

事業着手年度: 平成28年度
全体事業費: C=5億5,000万円

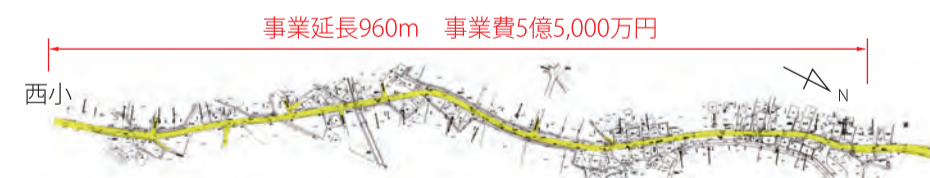
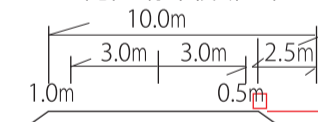
2. 現在の状況

- ・令和2年度までは、用地取得を進め道路改良工事に着手
- ・令和3年度は、引き続き用地取得及び道路改良工事を実施予定



現状写真
(西小方面から下沢交差点方面を望む)

〔計画標準横断面〕



④一般県道 鹿沼環状線 千渡北工区

1. 概要

箇所名: 鹿沼市千渡北
延長: 1,200m 第3種第2級(60km/h)
幅員: W=2.5m(車道3.25×4、歩道3.0×2(両側))
暫定整備(車道3.25×2、歩道3.0×1(片側))

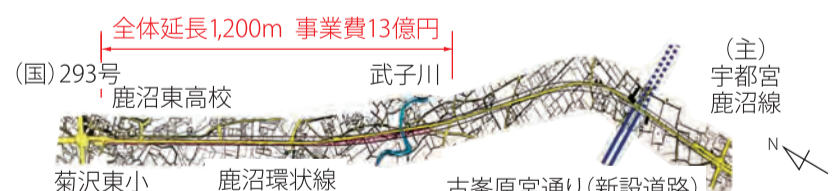
・全体事業費: 13億円 ・事業着手: 平成26年度

2. 現在の状況

- ・令和2年度までは、用地取得を進め道路改良工事に着手
- ・令和3年度は、引き続き用地取得及び道路改良工事実施予定



現状写真
(堂下橋方面から
仁神堂交差点方面を望む)



新鹿会の主張『4.県民生活の安心安全なまちづくり』 地域課題を住民の皆様の要望に応えるべく解決していきます。

a 緑町3丁目 交差点 右折化(北から西に)信号工事

☆鹿沼環状線、南進の右折車渋滞回避。

・右折化工事
R3年度
終了予定

現状写真▶
(鹿沼環状線木工団地
西交差点から望む)



b 平成橋東 交差点 右折化 信号工事

☆例幣使街道と鹿沼環状線の交差点 朝、夕時の右折車渋滞回避。

・右折化工事
R3年2月 終了

現状写真▶
(にっこり保育園前
平成橋方面を望む)



・東日本台風 河川復旧工事 中栗野(栗野川 大荷澤橋下流付近)

☆応急工事として、土壌による仮設堤防 その後、本堤防工事を実施。

・仮設堤防工事
R3年3月 終了

・本堤防工事
R3年～ 予定



・河川緩衝帯整備事業 上久我(荒井川 富沢橋下流付近)

☆護岸工事と併せて、藪・繁みを伐採整備。

・河川緩衝帯工事
R3年度
終了予定

